子供たちの「見つめる力」「かかわる力」を重点に置き、

「『やってみたい』と考え、**ともに動く子**」を育もう

昨年度から、「『やってみたい』と考え、ともに動く子」を目指す子供の姿として、その具現を目指してきました。その結果、様々な活動の場で「『やってみたい』と考え、ともに動く子」が増えてきており、「『やってみたい』と考え、ともに動いている」と自己評価する児童・保護者・教職員が90%を越えていることを見てもはっきりと分かります。

しかし、「ともに動く」ために必要な対話・対人スキルや、人の話を聞いたり気持ちを汲み取ったりすること、多様な他者の存在や思いを認め、受け入れながら活動していくことなどに課題も見られました。

そこで、学校が、人と人との関わりの中で、学力と共に子供たちの社会性を育てていく場であることを踏まえ、本年度も引き続き、「『やってみたい』と考え、ともに動く子」を目指す子供の姿として設定し、協働的に「やってみたい」を進めていく子を目指すことを職員全員で確認しました。

令和7年度は、第4次浜松市教育総合計画の初年度になります。そこに示された基本理念「描く夢や未来の実現」、「主体性」「多様性・包摂性」「信頼・協働」も見据えながらチーム学校としての東小学校がさらに飛躍する年となるよう、職員一丸となり、学校教育目標「やさしさ 元気 夢 いっぱい」に向かって進んでいきましょう。

I 知育部改善点

1 話を最後まで聴く

子供たちの自己評価において、「聞く」という項目の評価は、前期に比べ上がっている。しかし、保護者・教員の評価は上がっていない。そこで、「ともに動く」ために必要な「聞く」力を高めるために、「聞く」→「聴く」とし、傾聴していくことの意識を高める。そのために、教師自身も子どもの話を最後まで聴いたり、子供の姿を認めたりすることで聴く力を高めていく。教師の姿を手本とし、傾聴する姿が広がり、温かな学校・学級風土にもつながっていく。

2 振り返りをし、価値付ける

「目標を決めて学習に取り組み、振り返りを行い次の活動の意欲につなげる」の項目の子供の自己評価は高い。しかし、教員の中で、目標を持つことはできているが、まだ振り返りが十分ではなかったとの意見が多くあった。そこで、授業後や授業中の子供の良い表れや、成長について教員が価値付けをして伝えることで成長を実感したり、感想や気づきを考えたり発表したりする時間を設定することで自己を振り返ったりすることができるようになり、さらに次の学習に意欲をもって取り組めるようになると考え、振り返り、価値付けを大切に意識的に行っていく。

Ⅱ 徳育部改善点

1 挨拶

自己評価の挨拶・返事の評価は前期に比べて上がっている。しかし、教員の評価は下がっていた。教室に入ってくる時には自分から挨拶できる子供たちは多いが、お世話になっている地域の方々や、教室以外のところでは、自ら挨拶をすることができないことが考えられる。そこで、重点目標を「相手の顔を見て、時と場に合った挨拶や返事をする。」とし、「東小あいさつの日」に合わせてはままつマナーを活用し、挨拶や返事について考えていく。

2 やさしい子

自分や身近な友達のことは大切にすることができる。今後も、多くの人と関わり、社会性を育むことができるように「互いの個性を認め合い、協力し合う。」を重点目標とした。ピア・サポート活動を充実させ、学校教育全体を通して温かな学級・学校風土を構築するためのコミュニケーション能力を高めたり、縦割りのポプラグループ清掃・ポプラグループ遊びを通して、異学年の交流を深めたりしていく。

Ⅲ 体育部改善点

1 落ち着いた生活

自己評価アンケートの結果からは、児童の「落ち着いて生活をしている」という意識は高まっている。しかし、実際の行動の様子は、廊下を走る姿や友達とのトラブルによりけがをする児童がいる。そのため今年度も、「自分の心と体をコントロールし、落ち着いた生活をする。」を重点目標とする。子供たちが自分の心の状態を把握できるように心の天気アンケートを実施し、落ち着いた廊下歩行・階段歩行等を指導していく。

2 楽しく運動する

昨年度「あきらめないで運動する」を重点目標とし、取り組んできたことで、自己評価アンケートでは9割を超える児童が運動に対して最後まであきらめずに運動することができるようになってきた。本年度は、体を動かすことが楽しい、体育科授業が好きと実感できる児童がさらに増えるように「目標に向かって、ともに励まし合い、楽しく運動する」を重点目標にして取り組む。

Ⅳ 教務部改善点

1 週課の変更

放課後に行う授業準備の時間を充実させるため、掃除を週1回水曜日に変更する。

2 1年生の年間計画変更

入学した新1年生が、小学校生活に慣れるための期間を延長し、4、5月は全て4時間授業とする。（以前は5月大型連休明けから、5時間授業を設定）

3 懇談会テーマの設定

学校教育活動をより家庭に理解していただくために、懇談会で重点目標を視点として話し合う。